

2022.1 Vol.93

おうしゅう 福祉だより

OSHU FUKUSHI DAYORI



ホームページ
QRコード



羽田地区ふれあい食堂

1月12日(水)、羽田地区食生活改善推進協議会の方々が、地域交流と子育て中の保護者の支援も兼ねて、冬休み中の羽田放課後児童クラブの児童へ昼食提供を行いました。

子どもたちは、「おいしい!」と言って何度もおかわりをするなど、喜んで食べていました。

- P2.3 歳末たすけあい運動報告
- P4.5 SDGsの取り組み
- P6 権利擁護あんしんセンターの紹介
- P7 インフォメーション
- P8 社協のおしごと





つながる絆 広がる笑顔

奥州市歳末たすけあい運動報告

市民の皆さまよりお寄せいただいた歳末たすけあい募金の総額は、12,441,642円となりました。募金は、市社協、市共同募金委員会、市民生児童委員連合協議会の主唱団体を通じて、生活困難世帯への「激励金」、地域交流やつながりづくりを深める行事等を行う団体への「地域づくり活動助成」として配分しました。

募金いただきました市民の皆さまと、歳末たすけあい運動にご協力いただきました関係の皆さまに厚く御礼を申し上げます。

地域づくり活動助成の紹介

新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、年末年始に地域の幅広い世代が参加する交流イベントの実施や、地域の福祉ニーズを支援する団体へ助成しました。



■ 芦ヶ沢地域セーフティネット会議 (水沢地域)

コロナ禍でなかなかサロン活動が行えずにいましたが、今回の歳末たすけあい運動の助成金を活用して集まることができました。

久しぶりに皆さんの顔を見ることができ、ホッコリしました。

約1年半ぶりのサロン開催で、みんなの笑顔が見れてとても楽しかったです。
参加者

■ 嗜味自治会 (衣川地域)

子どもたちがサンタさんになって、一人暮らし高齢者や障がい者宅にお弁当のクリスマスプレゼントを届けました。

地元の嗜味みらい館にはイルミネーションを飾り付け、子どもたちと楽しみました。

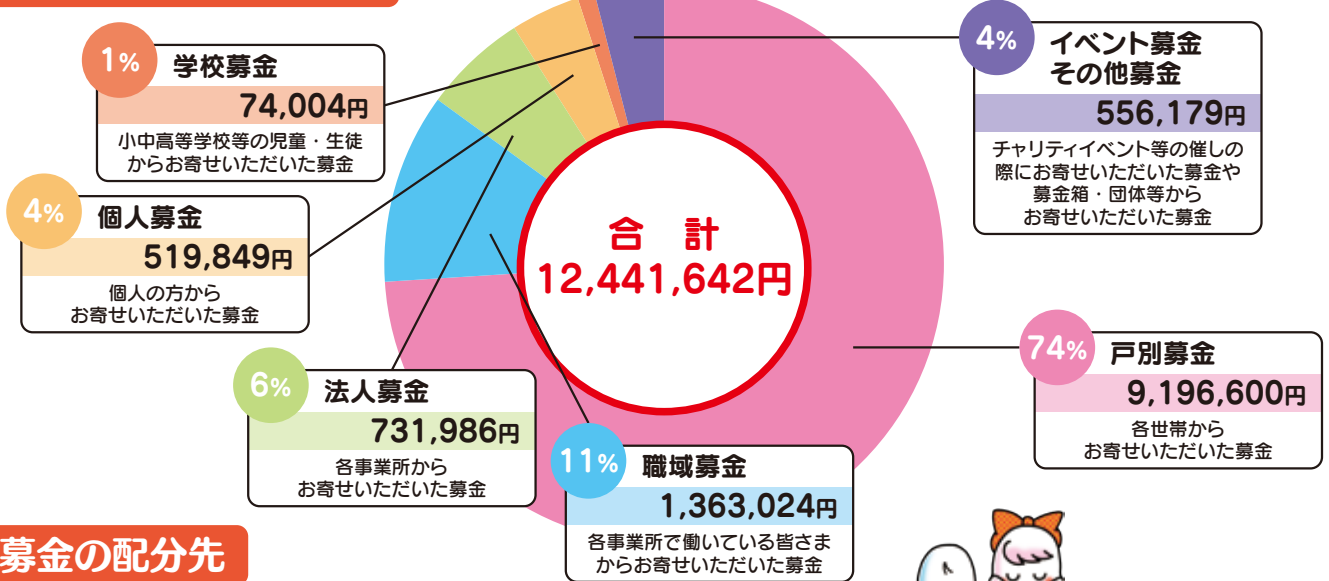
よいお年をお迎えください、と伝えながら皆さんにお届けしました。
参加者



市内879世帯に激励金をお届け 地域づくりのために117団体へ助成

令和4年1月11日現在

お寄せいただいた募金



募金の配分先

* 激励金の給付状況

対象区分	1件あたりの金額(円)	件数	金額(円)	基準	
ひとり暮らし高齢者世帯	世帯給付 8,000	330 世帯	2,640,000	65歳以上の高齢者のみで暮らす生活困難な世帯	
高齢者世帯	世帯給付 8,000	54 世帯	488,000		
	人員加算 1,000	56 人			
要介護者等がいる世帯	寝たきり・認知症高齢者	世帯給付 8,000	61 世帯	575,000	65歳以上で常時介護の必要な寝たきり高齢者や認知症高齢者のいる生活困難な世帯
		人員加算 1,000	87 人		
	障がい者	世帯給付 8,000	150 世帯	1,468,000	常時介護が必要な身体障がい児者、知的障がい児者、精神障がい児者のいる生活困難な世帯
		人員加算 1,000	268 人		
	難病	世帯給付 8,000	10 世帯	96,000	厚生労働省の指定する難病のため、常時介護を要する生活困難な世帯
		人員加算 1,000	16 人		
ひとり親世帯	世帯給付 8,000	151 世帯	1,452,000	ひとり親で中学校までの子どもを養育している生活困難な世帯	
	人員加算 1,000	244 人			
その他生活困難世帯	世帯給付 8,000	119 世帯	1,132,000	病気や怪我、失業、不安定就労等により生活困難な世帯	
	人員加算 1,000	180 人			
災害被災世帯	世帯給付 10,000	4 世帯	40,000	火災、震災、風水害で被災した世帯（令和2年12月～令和3年11月）	
合計		879 世帯	7,891,000		
		851 人			

* 地域づくり活動助成の配分状況

区分	件数	金額(円)
地域交流・つながりづくり 地域住民の交流やつながりを深めるために行う事業又は取組み、行事等	95	1,164,305
生活困難者（世帯）支援 高齢者、障がい者、児童、ひとり親世帯や生活困窮者世帯等、様々な生活・福祉課題を抱える生活困難世帯に対して実施する支援活動	15	220,000
その他の活動 上記以外の活動で住民のたすけあいによるセーフティネットの仕組みづくり等、歳末たすけあい運動の趣旨に該当する取組み	7	180,000
合計	117	1,564,305

* その他の支出

項目	金額(円)	内容
歳末たすけあい運動推進費	566,000	広報費等の事務経費
岩手県共同募金会送金	2,420,337	岩手県共同募金会へ送金 (令和4年度の奥州市の地域福祉事業に還元されます)
合計	2,986,337	



ae 社会福祉法人奥州市社

「だれもが心の豊かさと幸せを実感できる『福祉の
福祉活動を通じて持続可能なよ



奥州市社協のSDGs達成に向けた取り組み

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



現状の制度やサービスでは解決出来ない住民の個別ニーズをすくい上げ、行政や地域と連携しながら、困りごとを抱える人の相談に寄り添い、伴走型の支援を行います。

3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



だれもが心の豊かさと幸せを実感できるよう、福祉活動を展開します。地域における「互助」を大切に、いつまでも住み続けたいと思える福祉のまちづくりの実現に取り組みます。

5 ジェンダー平等を實現しよう



8 働きがいも経済成長も



働き方改革に基づき、職員が働きやすい職場環境の整備を推進するとともに、働きがいのある職場づくりを目指します。

4 質の高い教育をみんなに



市民向けの講座や研修会を開催し、福祉に対する意識の向上、地域福祉の担い手の育成を推進するとともに、職員研修を充実し、福祉サービスの質向上を図ります。

10 人や国の不平等をなくそう



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



13 気候変動に具体的な対策を



クールビズやウォームビズなどによる電気・ガス使用量の節減、節水による水道水使用量の節減、ペーパーレス化などによるリデュースの推進、印刷用紙再利用などによるリユースの推進、紙資源などのリサイクル推進を通じて、環境に配慮した行動に取り組みます。

14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



非営利性・公益性にふさわしい経営組織の構築、組織・事業の透明性向上、地域における公益的な取組に取り組み、公平で公正な法人運営を行います。

17 パートナーシップで目標を達成しよう



地域の福祉ニーズ等に対し、市内の社会福祉法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動が行われるよう、法人連携の仕組みとネットワーク化を進めます。



社会福祉協議会SDGs宣言

「まち奥州市」をめざして」という基本理念のもと、
よりよい未来を築いていきます。

社会福祉法人奥州市社会福祉協議会

会長 田面木 茂樹

SDGs (エス・ディー・ジーズ)

SDGsは、「Sustainable Development Goals : サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ」の頭文字をとった言葉で、持続可能な開発目標を意味します。

2015年の国連サミットにて、誰ひとり取り残さない (No one will be left Behind) を理念とする「SDGs」が採択されました。

持続可能な開発目標とは、より良い世界を目指すための世界共通の目標で、2030年までに達成するべき17個の目標と、具体的な169のターゲットから成り立っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	

SDGsとは、未来も私たちが地球で快適に暮らしていくために環境や資源を守り、さらに今の生活をより良いものにするということを表しています。



誰もが安心して地域で暮らしていくために

権利擁護あんしんセンターでは、住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるように、下記のような成年後見制度の相談と支援、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などの援助を行っています。

①成年後見制度

法定後見制度

認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分なため、財産管理や様々な契約などが1人では難しい方を支援します。



任意後見制度

将来、自分の判断能力が不十分になった時に備え、自分で後見人になってくれる人を選び、公正証書で任意後見人となる人と契約を結びます。



市社協権利擁護あんしんセンターへ相談

①成年後見制度の説明



②申立書類の作成の支援(お手伝い)



③家庭裁判所への申立の支援



④成年後見人等の決定、業務開始



②日常生活自立支援事業

住み慣れた地域や自宅で安心して自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づいて、福祉サービスの利用をお手伝いします。

- ・福祉サービスを利用したいけど、どこに相談すればいいのか分からない。
- ・お金の使い方に不安がある。
- ・書類の手続きに困っている。
- ・預金通帳をどこにしまったか不安になる。

通帳や印鑑を無くしてしまふことが増えてきまわ。

家賃や電気代を払ったか忘れてしまふ。



■福祉サービスの利用援助

福祉サービスに関する情報提供等についてお手伝いします。

付随サービス①

・日常的な金銭管理サービス



公共料金や福祉サービス利用料などのお金の出し入れをお手伝いします。

付随サービス②

・書類預かりサービス



大切な印鑑や証書などを安全な場所でお預かりします。

※付随サービスのみでの利用はできません。

③障がいがある人への不利益な取り扱いに対する相談窓口

障がいがあることを理由に不当な差別や権利の制限、合理的な配慮がなされないなど不利益な取り扱いを受けた場合の相談窓口を設置しています。

相談内容について県に連絡し、その後県から当事者へ確認・調整・アドバイスを行います。

お問合せ先

市社協生活応援課
権利擁護
あんしんセンター
☎25-7171



くらしとこころの総合相談会

暮らしの困りごとや心配ごとはありませんか？

相談会では、専門家が直接相談をお受けします。相談の内容によっては、専門家と連携して問題解決のお手伝いをします。秘密は厳守します。

- ▼開設日時 令和4年3月18日(金) 午前の部 午前10時30分～午後0時30分
午後の部 午後1時30分～午後3時30分
- ▼会場 市民プラザ・マッセ(水沢メイプル地階)
- ▼相談内容 法律、相続・登記、墓じまい(午後のみ)、介護・生活、こころ・健康、障がい、仕事(午後のみ)、権利擁護に関する相談など
- ▼相談料 無料
- ▼申込締切 2月28日(月)
- ▼問合せ 市社協生活応援課 ☎25-7171



レクリエーション用具等を無料貸出しています



地域が主催する行事やサロンの活動に、ぜひご活用ください。

- ▼貸出物品 玉入れ、輪投げ、ポッチャ、ドミノゲーム、ビンゴゲーム、かるた、介護予防に関するDVD・ビデオ・書籍など
- ▼借用方法 予約が必要です。各支所により貸出物品が異なりますので、事前にお問い合わせください。
- ▼問合せ 市社協地域福祉課 ☎25-6188 / 最寄りの市社協各支所



新型コロナウイルス感染症の拡大動向により、参加者や会場の状況等を考慮し、行事を延期または中止することがあります。

心温まる寄附金をお寄せいただきました

3,051,873円〔令和3年8月1日～11月30日受付分〕

- 《水沢》 岩手県立水沢商業高等学校3学年 奥州市総合福祉センター募金箱 奥州市水沢パークゴルフ協会 会長 原田守 (有)ケー・マート 佐藤ツヤ 東亜リース(株) 匿名2名
- 《江刺》 鳩和会 会長 海鋒守
- 《前沢》 高橋義明 吉田俊彦 渡辺光朗
- 《胆沢》 千田なが子

(敬称略)

温かいご支援ありがとうございました。



社協のおしごと

奥州市社会福祉協議会では、5課32事業所の約320人の職員が働いています。このコーナーでは、市民の皆さんに社協職員の仕事の内容を知っていただけるよう事業所を紹介していきます。

④ 地域福祉課

Q 地域福祉課の職員は何名ですか？



課長：佐藤康裕

水沢・江刺・前沢・胆沢・衣川の各支所に福祉活動専門員（CSW）を17名配置し、そのほか事務員等も含め、全23名です。



水沢支所

水沢南町5-12

Q 地域福祉課はどのような課ですか？

地域福祉推進のため、行政区等を基本単位とし、そこに暮らす市民の皆さまと一緒に課題を把握し、みんなで解決に結びつけられるような地域づくりを進めています。

Q 具体的にどのような仕事をしていますか？

【小地域ネットワーク活動】 住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、支援が必要な人に対し、近隣の方々やボランティアと一緒に支えあい活動を進めています。

【避難行動要支援者支援事業】 地域セーフティネット会議等により、町内会（自治会）役員や福祉活動推進員（行政区長）、民生児童委員等の福祉関係者が連携し、要援護世帯の安否確認と生活支援に必要な情報を整理し、緊急時における支援体制の構築を図ります。また、台帳整備と台帳登録者への緊急連絡カードの配備を行います。

【ボランティア・市民活動センターの運営】 ボランティア活動の情報提供や活動拠点の開設、ボランティア登録事業などを通じて、活動の啓発と活性化、団体の支援を行っています。

【外出支援サービス事業・福祉車両貸出事業「あばいん」】 前沢・胆沢・衣川地域では、寝たきり高齢者・重度の下肢障がい者等を対象に、通院・公共施設への外出時にボランティアによるリフト付き車両の運行を行っています。また、市全域では、在宅で車いす等を利用しており外出が困難な方へ、福祉車両の無償貸出を実施しています。



江刺支所

江刺岩谷堂字下惣田290-1



前沢支所

前沢字立石180-1



胆沢支所

胆沢南都田字石行30-1



衣川支所

衣川古戸53-1

奥州市社会福祉協議会			連絡先	
総務財政課 25-6158	地域福祉課 25-6188	水沢支所 25-6025	江刺支所 35-8081	前沢支所 56-2148
胆沢支所 46-3111	衣川支所 52-3144	生活応援課 25-7171	こども福祉課 25-6158	介護事業課 51-1181